

γ-グルタミルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2293

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 哺乳類酵素は細胞の抗酸化防御機構の一部です。これは細胞外グルタチオン（GSH）の分解を開始し、細胞に局所的なシステイン供給を提供し、細胞内GSHレベルの維持に寄与します。このタンパク質はまた、EC 3.4.19.13（グルタチオン加水分解酵素）活性を持っています。この酵素は、単一の前体ポリペプチドのプロテオリティック切断によって生成される二つの鎖から構成されています。C末端サブユニットのN末端L-スレオニンは、切断反応と加水分解反応の両方の活性部位として機能します。

別名 グルタミルトランスペプチダーゼ; α-グルタミルトランスペプチダーゼ; γ-グルタミルペプチジルトランスフェラーゼ; γ-グルタミルトランスペプチダーゼ（あいまい）; γ-GPT; γ-GT; γ-GTP; L-γ-グルタミルトランスペプチダーゼ; L-γ-グルタミルトランスフェラーゼ; L-グルタミルトランスフェラーゼ; GGT（あいまい）; γ-グルタミルトランスペプチダーゼ（あいまい）

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.3.2.2

CAS登録番号 9046-27-9

反応 a (5-L-グルタミル)-ペプチド + アミノ酸 = ペプチド + 5-L-グルタミルアミノ酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。